

瑞祥会・ルボアユニオン議事録

会議名	三役会議
開催日時	令和2年4月11日（土） 18時30～20時50分
開催場所	高松市東部運動公園 第1会議室
議 題	報告事項 1. 2.
	協議事項 1. 過去からの不当労働行為について（上部団体の見解の報告と協議） 2. 労使協議会、追加事項の確認 3. 4月の執行委員会開催可否について 4. 5.
出席者	4名（氏名は省略）
記録者	横田 秀範

審議経過及び審議結果

1.（1）過去からの不当労働行為について

4/7、これまでの経緯を作成した資料等を元にし、上部団体と当方（船川委員長）が協議。

窓口（浅野施設長・堀川副施設長）としては不適格、また、窓口の替りがいないことはない旨も伝える。

上部団体の見解をまとめると、窓口のとっている言動は許されないこと。関係が悪化するのはいくなく、ダメなことはダメであるとの見解。

かがわユニオン西尾書記長も仲裁役として介入して下さり、今回のいきさつの発端でもある浅野施設長と話を頂いた。

一連の流れの結果から、浅野施設長も反省の色を見せてはいる事もあり、今後、組合としてどうするか三役の総意として「静観」という立ち位置を取ったが、これまでのそれではなく、「これで最後の静観」とすることもここで確認した。

「組合として、浅野施設長に対し悪意を持つ事は無い。個人的感情は抜きにして、真摯に向き合ってもらいたいだけである」と委員長より。

（2）労使協議会、追加事項の確認。

※別紙の追加事項に関して確認を行った。

・ルボアの死亡処置手当については、就業規則にも明記されている事項。看護職には遡っての支給を求める。また、介護職員も携わっている現状もあるとの事。介護職にも手当の範囲を拡げる要求をしていく必要性もあるので、その部分も今後決めていく。

- ・新型コロナウイルスの対応に関し、施設ごとに対応が違う現状がある。

施設ごとで決めるものなのか、法人が基準をきちんと示していくのか。

とにもかくにも、管理者だけで決定せず、多職種よりヒアリングし、早急に対応策を講じていく必要がある。

- ・キャリアパス（案）について、今回は案の提出だけにはなるが、そのポストに就くには何が必要か熟考を重ねて作成したもの。しっかりと内容について吟味して欲しい旨を伝える。

- ・今後の労使協の在り方について、法人側の言う議題の多さについては、これまでよりも回数多く開催することで解消していく他ない。また、求めるのは回答だけでなく対等な立場での協議であること。従来のやり方を一度フラットに戻し、在り方そのものについて双方で意見を交わす必要がある。

(3) 4月の執行委員会開催の可否について。

今月の開催も中止とするが、以前にも増して LINE や Gmail 等を活用し、執行部内の意思疎通を怠らないよう留意する。

以上。